

# 与謝の海病院NEWS

平成23年5月  
Vol.126

～ 患者が中心の、地域に開かれた病院 ～

京都府立与謝の海病院  
〒629-2261  
京都府与謝郡与謝野町字男山481  
電話/FAX 0772-46-3371 (代表)  
http://www.pref.kyoto.jp/yosanouminp/  
●発行責任者：才本事務部長

3月11日(金)に発生いたしました東日本大震災により、被災されました皆さまおよびご家族の方々に対しまして心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。



京都府立与謝の海病院

院長 関本達之

平成23年度を迎えて、京都府立与謝の海病院は、また新たな歩みを始めることとなります。例年のことではありますが、定例の人事異動により、今年も多くの人たちを迎えることになりました。新たに迎えた方たちには新風を吹き込んでもらうとともに、与謝の海病院のよき伝統も継承していただき、与謝の海病院一丸となって地域の皆さまの医療に貢献していきたいと考えております。

また平成21年度後半から始まりました地域医療再生計画は3年度目に入り、具体的な事業が本格的に開始され、まず大型高度医療機器の導入の工事が間もなく始まる予定です。これらの機器による優れた診断技術を駆使して医療の質を向上させることはもちろんですが、与謝の海病院の患者さまのみならず、京都府北部の多くの皆さまにも活用していただけるような医療連携システムを模索し、実現化していきたいと考えております。さ

らに今回の大自然災害を鑑みまして、院内の組織や体制を見直し、有事に立ち向かえる病院になるよう尽力いたしたいと考えております。

今年度には地域医療再生計画をはじめ、多くの事業を行う計画があり、それらにつきましてはそれぞれ具体化いたしました時点で逐次お伝えして行く所存です。各種事業にかかわる工事期間中には、ご不便、ご迷惑をおかけすることもあろうかと思いますが、最善策を講じていきますので、ご理解のほどをお願いいたします。

今年度は、京都府立与謝の海療養所が昭和36年(1961年)に一般診療を行うための京都府立与謝の海病院に改編されてちょうど50年目にあたります。この節目の時期に多くの事業が行えることを喜びとともに、皆さまの医療のためにさらなる貢献ができる基盤を見直したいと考えております。今年度もどうぞよろしくをお願いいたします。



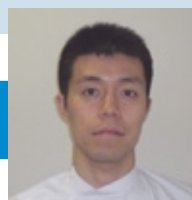
## 第126号の内容

- 1 ページ ● 院長あいさつ
- 2 ページ ● 診察室 一救急科一 ● 東日本大震災支援活動報告  
● 一口レシピ・行事食
- 3 ページ ● ナースのお仕事2 一室田 邦子 副看護部長一
- 4 ページ ● 外来各科診察担当医表 ● 医師異動情報



## 診療科紹介 — 救急科 —

救急科医長 すみ だ やす ゆき  
 隅 田 靖 之



従来専門診療科の医師で担っていた救急外来診療に救急医を配置することで診療の円滑化、専門診療へのスムーズな移行を目指す目的のもと2011年4月救急科が新設されました。診療対象は小児～高齢者まで、診療範囲は救急外来で遭遇する全ての疾病に及びます。

現在の日本の医療は各専門診療科の治療技術が目覚ましい進歩を遂げる一方で、少子高齢化時代を迎え福祉を含めた新たな医療体制が求められています。その中で当科が今まで専門診療科の先生方が担っていた救急診療を引き継ぎ、丹後医療圏11万人のセーフティネットワークとして救急診療を継続し、各専門医がより高度な治療技術に対応すべく各々の診療に専念できることが、地域の基幹病院における当科

の役割と考えております。尚、疾病によってはしかるべき専門医の協力を仰ぎながら今まで通りの質を維持していくつもりです。

昨今、たらいまわし問題にもあるように地域の救急医療は単一の病院のみで維持することが難しくなっています。院内のスタッフのみならず地域の開業医の先生方やケアマネージャー、ヘルパーさん方にも各々の範囲でご協力頂きながら、地域の救急医療を守っていきたく思います。

最後に、当院は研修医師、医学生、救急救命士の教育施設にも指定されています。次代を担う世代の教育も地域の救急医療を守る1つの使命であります。地域のみなさまのご理解ご協力を何卒お願い申し上げます。

## 東日本大震災 (支援活動報告)



### 1. DMAT活動

3月11日(金)～13日(日)、  
福島空港SCU※、患者広域搬送  
医師2名・看護師2名・事務2名  
(※「SCU」とは「広域搬送拠点に設置する搬送患者待機のための臨時医療施設。症状安定化のための処置・広域搬送のトリアージ等が実施される。)

今回の大震災におきまして、被災された皆様に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

平成23年3月11日(金)に発生した東日本大震災で当院からも医療チームの派遣を行いました。

これからも府民の皆様と力を合わせ、京都の活力を高め被災地・被災者の支援に力を尽くしていきたいと考えておりますので、引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

活動の概要は次のとおりです。(派遣内容：期間、場所、業務、人員)



### 2. 救護班(1)

3月18日(金)～21日(日)、  
福島県会津地方の避難所、巡回診察  
医師1名・看護師2名・事務2名



### 3. 救護班(2)

4月8日(金)～12日(日)、  
福島県会津地方の避難所、巡回診察  
医師1名・看護師2名・事務2名



ヘルシー  
豆腐ハンバーグ

**【材料(5人分)】** ●豆腐…1丁 ●鶏ミンチ…100g ●人参…20g  
●玉葱…50g ●卵…1個 ●片栗粉…5g ●塩・胡椒…適宜

### 【作り方】

- ①豆腐は包丁で切り、ザルにあげ水切りをします。そのあと、手で細かくしておきます。
- ②人参をミジン切りにし、茹でて冷まします。
- ③鶏ミンチを炒めて塩・胡椒し、その中へミジン切りにした玉葱を加え、さらに炒め冷ましておきます。
- ④先ほどの豆腐に冷ました具材と、片栗粉・卵・塩を入れ混ぜ合わせます。(戻したヒジキを加えても美味しいです)
- ⑤ハンバーグと同じように形を整えて蒸し器などで蒸します。(蒸したあとフライパンで焼き目を付けても美味しいです)
- ⑥お好みでソース・ケチャップなど、和風におろしポン酢でどうぞ。

### 行事食



4月12日には、  
春のお花見弁当  
を配食しました。

## ナースのお仕事 2

— 室田 邦子 副看護部長 —



今回は看護部長室で医療安全管理などを担当されている室田副看護部長をご紹介します。

〔むろた・くにこ  
平成8年4月から当院勤務、看護部長室勤務は平成21年4月から〕

質問1：看護師になろうと思ったきっかけは何ですか？

室田：小学生の頃に手術を数回受けました。意識のある状態で手術を受けていたので、ずっとそばで手を握り「大丈夫だよ」とってくれた看護師さん！とても優しく安心しました。潜在的に脳裏に残っていたのか、高校受験の時、突然に進路変更をして看護師になることができました。

質問2：看護師になってからこれまでに印象深く感じたことがあれば教えてください。

室田：入職5年目、小児科病棟に勤務し、そこは母子分離の病棟でした。入院治療という環境の変化で、患児も親も情緒不安定となります。本当に母子分離で効果的な治療ができるのか、苦悶していました。短期間に医療者が集中的に治療を行い、早期に退院できることを目指していると、先輩から指導を受け現状を認識できました。小さな幼児でも不安な両親に対しても、方針や根拠を一生懸命説明すると理解して頂けると実感できました。私の看護観の1つとなっています。

質問3：今、室田副看護部長がしているお仕事を教えてください。

室田：医療安全管理者として、日々\*インシデント・アクシデントの状況確認をします。事故の内容や情報を確認して、多職種の委員会で事故防止対策の検討をしています。また院内研修会の開催や院内ラウンド、リスクマネージャーによるグループ活動などを通して、事故防止対策の取り組みに努めています。そして誤認防止として、患者さまから名前を名乗ってもらおう！のパートナーシップの強化にも取り組んでいます。

(※「インシデント」：実際には事故につながらなかった潜在的事例のうち重大事故に至る可能性がある事例)

質問4：看護師になってから感じることはどんな事ですか？

室田：職種の違いの複数の職員がチームを組み、患者さまも参加して同じ目標を目指して活動をする、目標達成の相乗効果が得られることを、医療安全の取り組みなどから学ぶことができました。患者さまのニーズは多種多様であり、部門部署や地域の医療機関など、お互いに連携協力しあうチーム医療が必要となっています。それには一番患者さまと近い看護師がリーダーシップをとり医療の提供に取り組んでいくように、一緒に頑張っていきたいと思います。



8:45 前日の申し送り



9:15 外来患者さまのお手伝い



15:15 医療安全の院内ラウンド

募集

一緒に働きませんか？ 看護師・作業療法士・薬剤師・視能訓練士・准看護師

当院では現在、臨時的任用職員(看護師・作業療法士・薬剤師)、非常勤嘱託(薬剤師)、臨時職員(看護師・准看護師)を募集しています。条件等についてはお気軽にお問い合わせください。

年齢制限はございません。給料は経験によります。



【お問い合わせ先】京都市立与謝の海病院 庶務課 ☎0772-46-3371 (代表)

# 外来各科診察担当医表

(平成23年4月1日)

診察室	診療科	月	火	水	木	金	
11	総合内科	時田 和彦 副院長	大原 亮 医長	大月 亮三 医長	田川 雅梓 副医長	城 正泰 医長	
12	呼吸器科	石野 秀岳 医長	大月 亮三 医長		石野 秀岳 医長	大月 亮三 医長	
	消化器科			城 正泰 医長 (肝臓)			
13		玄 泰行 副医長	土肥 統 副医長	加藤 萌由 医師	井上 健 副医長	廣瀬 亮平 医師	
14	循環器科	本庄 尚謙 医長	五十殿弘二 医長	高田 博輝 副医長	木下 英吾 副医長	岸田 聡 副医長	
15	神経内科	大原 亮 医長			木村 正志 医師	大原 亮 医長	
26	精神科神経科	福島 弘之 医師	上村 宏 医長	上村 宏 医長	上村 宏 医長	福島 弘之 医師	
23	小児科	西村 陽 副院長	栞原 康通 医長	宮地 充 副医長	西村 陽 副院長	小川 弘 医長	
18	外科	1診	中村 憲司 医長 (乳腺・新患)	石井 博道 副医長	伊藤 剛 医長	中村 憲司 医長	當麻 敦史 医長
		2診	工藤 道弘 医師		小林 卓馬 医師		
22	整形外科	(1,5週)白須幹啓 医長 (2週)外村 仁 副医長 (3週)琴浦 義浩 副医長 (4週)成田 渉 副医長	成田 渉 副医長	外村 仁 副医長	白須 幹啓 医長	琴浦 義浩 副医長	
17	脳神経外科		関本 達之 院長		鷹羽 良平 医師	法里 高 医師	
19	眼科	1診	水野連太郎 副医長	担当医	小嶋健太郎 医長	三重野洋喜 医師	水野連太郎 副医長
		2診	三重野洋喜 医師		山脇 敬博 医師	小嶋健太郎 医長	
20	産婦人科	小芝 明美 副医長	野口 敏史 副院長	小柴 寿人 医長	(1,3,5週)小柴寿人 医長 (2,4週)小芝明美 副医長	野口 敏史 副院長	
24	泌尿器科	松ヶ角 透 医師	鈴木 啓 医長	鈴木 啓 医長	松ヶ角 透 医師	鈴木 啓 医長	
25	耳鼻咽喉科	1診	長谷川達央 医長	齋藤 敦志 副医長	松波 達也 医師	長谷川達央 医長	齋藤 敦志 副医長
		2診		長谷川達央 医長	齋藤 敦志 副医長	齋藤 敦志 副医長	
21	ペインクリニック		(2,4週)細川康二 医長				
16	皮膚科	今井 慎 副医長		今井 慎 副医長	今井 慎 副医長	今井 慎 副医長	

●受付時間/8:00~11:00

●閉診日/土・日・祝日(急患は、時間外でも診察)

## 医師異動情報

診療科名	転出(平成23年3月31日)	転入(平成23年4月1日)	診療科名	転出(平成23年3月31日)	転入(平成23年4月1日)
消化器科	医長 大野 智之	副医長 井上 健	小児科	副医長 柳生 茂希	医長 栞原 康通
	副医長 西家 章弘	医師 加藤 萌由		医師 神崎 智仁	医師 小林 卓馬
循環器科	副診療部長 木村 晋三	—	外科	医師 西村 真澄	—
	—	副医長 木下 英吾		医長 丸山 和一	医長 小嶋健太郎
呼吸器科	糖尿病 医長 小暮 彰典	—	眼科	医師 丸山 悠子	副医長 水野連太郎
	リウマチ —	医長 石野 秀岳		—	医師 三重野洋喜
精神内科	医長 藤原 康弘	医長 大原 亮	泌尿器科	医師 細田 光洋	医師 松ヶ角 透
精神科	医師 森 佳子	医師 福島 弘之	麻酔科	医師 安本 寛章	医師 早川 由夏
小児科	—	副院長 西村 陽	皮膚科	医長 任 恵美	副医長 今井 慎
			救急科	—	医長 隅田 靖之

【発行】京都府立与謝の海病院 【編集】与謝の海病院広報委員会 【問合せ先】庶務課  
 TEL/FAX 0772-46-3371 (代表) ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/yosanoumihp/>  
 ホームページから“お見舞メール✉”サービスがご利用いただけます。